

和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ 第6回（8月9日）開催記録

第6回目の「和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ」が、8月9日（月）午後6時30分より、和歌山市役所14階大会議室で開催されました。

前回、前々回に引き続き「自分たち・TMO・行政がすること、できること」について検討を行い、事業内容や事業主体などについてより綿密な話し合いが行われました。

グループ討議(ワーキング5)

ワーキング3・4と中心市街地活性化について、「自分たち・TMO・行政」それぞれ何ができるかを考え、具体的な事業案について検討が行われてきました。今回はさらに踏み込んだ話し合いを行い、次のような内容が検討されました。

Aグループ(個店の魅力で人を惹きつけるまち)

今までのワーキングで出てきたアイデアを次の4つのプロジェクトにまとめて検討を行った。

- ①みんなが共感できるまちづくりのテーマ（特徴）の設定と遵守を継続していくプロジェクト
- ②個店力アップ・プロジェクト
- ③TMOネットワーク拡大・プロジェクト
- ④空き店舗対策等まちの新陳代謝促進プロジェクト

Bグループ（お気に入りの風景やスポットのあるまち）

今までに出てきた34案のアイデアを①「WEB（インターネット）上で実現できるもの」と②「ハード整備などWEB上では実現できないもの」の2つに分けて検討した。②については、ハード整備等の実現に向けての仕組みについて話し合った。

Cグループ（長い時間ゆっくり過ごせるまち）

「ぶらくり丁へのアクセス」、「環境維持・整備」、「回遊性の向上」、「イベント」に分類された事業案について事業主体や実施方法について検討した。

Dグループ（高齢になっても生き生きと暮らせるまち）

暮らし空間の創出について、タウンモビリティを軸に検討を行い、タウンモビリティの導入に向けた具体的な事業案について話し合いを行った。



討議終了後、各グループの代表者から検討結果のまとめが発表されました。

まだ検討が終わっていない事柄もありますが、各グループから提案される“5年以内に実施できる具体的な事業案”の大筋が見えてきました。

それぞれのグループの検討結果は次のとおりです。

Aグループ

「個店の魅力で人を惹きつけるまち」賑わい性創出ワーキンググループ

今回の議題	「自分たち、TMO、行政が すること・できること」	ファシリテータ 氏名	川崎 昌和
-------	------------------------------	---------------	-------

(検討結果)

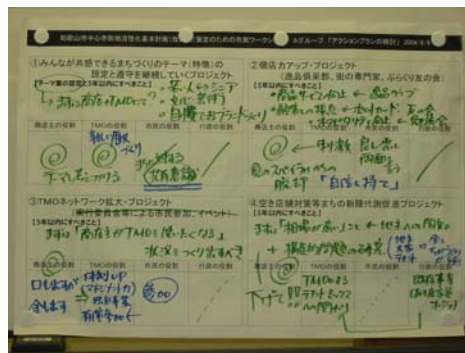
今回は、「個店の魅力で賑わいを創出するための方策」について、具体的なアクションプログラムとしてまとめ上げることが目的です。前回のアイデア整理から得られた、以下の4つのプロジェクトについて、関係主体の役割を検討しながらアクションプログラムとしての提案を行いました。

- ① **みんなが共感できるまちづくりのテーマ(特徴)の設定と遵守を継続していくプロジェクト**
- ② **個店力アップ・プロジェクト (逸品倶楽部、街の専門家、ぶらくり友の会)**
- ③ **TMOネットワーク拡大・プロジェクト (実行委員会等による市民参加、イベント)**
- ④ **空き店舗対策等まちの新陳代謝促進プロジェクト**

このうち、①は、他のアクションプログラムを有効なものとしていくための「基盤」として必要であり、ぜひ実現していくべきものとしての共通認識を改めて確認しました。個店の魅力を向上させるのは基本的に店主の努力に尽きる面が大きいです。それを支援するために周囲の関係者がやるようとする様々な取組みについて「どうせやっても無駄だろう」という負のスパイラルを変えていく必要があります。その意味での意識改革に根気よく取り組んでいくことが大切だと思われま。

和歌山市中心市街地活性化基本計画(改訂版)策定のための市民ワークショップ Aグループ「アクションプランの検討」 2004/8/9

<p>①みんなが共感できるまちづくりのテーマ(特徴)の設定と遵守を継続していくプロジェクト 【テーマ案の設定と5年以内にすべきこと】</p> <p>★まちづくりのテーマやターゲット(若年⇄シニア?)の設定は、商店街で考えるのが前提(Aグループの提案としては「まちなかは市民の共有文化財産! ~自慢できるこだわりをもった、新たな商店街文化創出~) →その共通目標の上で、「土曜日は夜8:00まで全店開店しています」といった取り組みを ※効果のシミュレーション・検証は必要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>店主の役割</th> <th>TMOの役割</th> <th>市民の役割</th> <th>行政の役割</th> </tr> <tr> <td>まずは意識改革 ◎</td> <td>スローガン検討の核 ◎</td> <td>←評価 △</td> <td>行政の役割 /</td> </tr> </table>	店主の役割	TMOの役割	市民の役割	行政の役割	まずは意識改革 ◎	スローガン検討の核 ◎	←評価 △	行政の役割 /	<p>②個店力アップ・プロジェクト (逸品倶楽部、街の専門家、ぶらくり友の会) 【5年以内にすべきこと】</p> <p>○勉強会「商人塾」 ←商品・サービス自体の品質向上 / 経営者意識向上 ○逸品倶楽部 ←各商店が連携した形での名物づくり・ブランドづくりの取り組み ○ぶらくり友の会 ←顧客の声を反映させる仕組みづくり (ポイントカード等も ←業種による調整を検討)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>店主の役割</th> <th>TMOの役割</th> <th>市民の役割</th> <th>行政の役割</th> </tr> <tr> <td>まずは自信を持つ ◎</td> <td>取り組みの効果の検証 ◎</td> <td>良い面・悪い面両方を伝える ◎</td> <td>必要に応じて専門家派遣等 △</td> </tr> </table>	店主の役割	TMOの役割	市民の役割	行政の役割	まずは自信を持つ ◎	取り組みの効果の検証 ◎	良い面・悪い面両方を伝える ◎	必要に応じて専門家派遣等 △
店主の役割	TMOの役割	市民の役割	行政の役割														
まずは意識改革 ◎	スローガン検討の核 ◎	←評価 △	行政の役割 /														
店主の役割	TMOの役割	市民の役割	行政の役割														
まずは自信を持つ ◎	取り組みの効果の検証 ◎	良い面・悪い面両方を伝える ◎	必要に応じて専門家派遣等 △														
<p>③TMOネットワーク拡大・プロジェクト (実行委員会等による市民参加、イベント) 【5年以内にすべきこと】</p> <p>○まずは「店主がTMOを使いたくなるような状況をつくる」 →独自事業による実績づくり、体制強化(専門家や関心を持つ市民の参加を誘導) ○特に、商店街の若い人から、(少数派でも)スタートする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>店主の役割</th> <th>TMOの役割</th> <th>市民の役割</th> <th>行政の役割</th> </tr> <tr> <td>口も出すが金も人も出す ◎</td> <td>マネジメント力向上 ◎</td> <td>TMOに参加(有償ボランティア) ◎</td> <td>行政の役割 /</td> </tr> </table>	店主の役割	TMOの役割	市民の役割	行政の役割	口も出すが金も人も出す ◎	マネジメント力向上 ◎	TMOに参加(有償ボランティア) ◎	行政の役割 /	<p>④空き店舗対策等まちの新陳代謝促進プロジェクト 【5年以内にすべきこと】</p> <p>○相場の検証 →とにかく高止まりしていること ○構造的な問題の研究 →「地主」や「大家」や「テナント」という関係 (借地の上に建物が建設され、その持ち主が別々というケースが約4割) →安くても買いたほうが、長期的には有効だということを検証することが必要。それが検証できれば、地主も納得する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>大家さんの役割</th> <th>TMOの役割</th> <th>市民の役割</th> <th>行政の役割</th> </tr> <tr> <td>(効果を踏まえ)地代を下げる ◎</td> <td>テナントミックスへの積極的関与 ◎</td> <td>市民の役割 /</td> <td>既存補助制度 ◎</td> </tr> </table>	大家さんの役割	TMOの役割	市民の役割	行政の役割	(効果を踏まえ)地代を下げる ◎	テナントミックスへの積極的関与 ◎	市民の役割 /	既存補助制度 ◎
店主の役割	TMOの役割	市民の役割	行政の役割														
口も出すが金も人も出す ◎	マネジメント力向上 ◎	TMOに参加(有償ボランティア) ◎	行政の役割 /														
大家さんの役割	TMOの役割	市民の役割	行政の役割														
(効果を踏まえ)地代を下げる ◎	テナントミックスへの積極的関与 ◎	市民の役割 /	既存補助制度 ◎														



Bグループ 「お気に入りの風景やスポットのあるまち」 限界性創出ワーキンググループ			
今回の議題	「自分たち、TMO、行政が すること・できること」	ファシリテータ 氏 名	西川 昇
<p>(検討結果)</p> <p>最初に前回のWSで提案のあったWEB上での実現可能性についての話をしました。また、行政の方から、自治体の財政の状況などを話してもらいました。WEBありきの議論ではなく、各アイデア実現の手段としてのWEB案だったので、市民メンバーにも快く受け入れてもらえました。</p> <p>その後、34案あるアイデアを①WEB上ですべて実現できるもの②WEB上で一部実現できるもの③WEB上では実現できないものに分類、WEBを実現するために「誰がどのように行うのか？」という部分に重点を置いて話を進めていきました。コンテンツの決定などパソコンにあまり詳しくない人も参加でき、柔軟性、拡張性のある仕組みを考えました。また、これまでのWSでも問題点として挙がっていた「市民」の責任の部分を確認するためのアイデアについても話し合いました。</p> <p style="text-align: right;">→WEBの企画案</p> <p>WEB上では実現できないハード整備などのアイデアについては、それらの具体的なアイデアを最終目標として、そこに到達するまでの課題解決のための仕組みづくりについて話を進めました。最初に、市民メンバーの方からの提案でパリの街中で設置されているオブジェやベンチなどの写真を見て、みんなのイメージを統一したあとでクリアしなければならない課題を、もう一度洗い出しました。</p> <p style="text-align: right;">→ハード整備実現に向けての仕組み</p> <p>次回からは、事業終了後のまちの将来像を考え、具体的な数値目標を設定していきたいと思えます。</p>			



Cグループ

「長い時間ゆっくり過ごせるまち」回遊性・滞留性創出ワーキンググループ

今回の議題	「自分たち、TMO、行政が すること・できること」	ファシリテータ 氏 名	片桐 裕明
-------	------------------------------	----------------	-------

(検討結果)

次回、5年後の都市像を具体的に描くため、重複した話題の「タウンモビリティ」「個店の魅力」についてはA・Dグループに申し送ることとし、それ以外の事業について「自分たち、TMO、行政がすること、できること」について意見をそれぞれの立場から述べました。

特に「青空ギャラリー」「キッズフリーマーケット・ドラマワークショップ」についてはTMO、行政も積極的で、「長い時間ゆっくり過ごせる街」を実現するに、大きな手がかりを得ることができました。次回は下表をもとに、未検討事業の可能性を検討、5年後の将来像のイメージを共有できればと考えます。

長い時間ゆっくり過ごせる街「回遊性・滞留性創出ワーキンググループ」	自分たちがすること ・できること	TMOがすること ・できること	行政がすること ・できること	
ぶらくり丁へのアクセス	駐車場借り上げ事業	○	△	
	路上駐車可能エリア(時間限定)の設定	△	△ 公安委員会の認定 パーキングメーター設置費?	
	空駐車場誘導サインの整備	○	× 費用対効果無	
中心市街地の環境維持	緑化・美化運動へのボランティア参加	○	△	
	防犯活動	○ 組織作り 一部実施中	△ 支援(市ボランティア推進室) △ 支援(警察)	
回遊性の向上	中心市街地ウォーキングイベント 市街地マップづくり 街のコンシェルジュ(案内人) 本町通りの遊歩道化(公園前からぶらくり丁まで、夕方限定)	△ 企画段階から参加 ファンドの提供	○ 事業主体、支援等 ファンドの運用	? △ 道路交通法の許可 利害関係者の同意
	駅からぶらくり丁までの遊歩道化(ベンチ、植栽、憩いの場) 歩道の石畳、沿道緑化、休憩スペース 3ヶ所のプロムナードのポケットパーク化(緑化、ベンチの設置) 3ヶ所のプロムナードにモバイルユニット(屋台)の設置	? 整備・維持	? 整備・維持	△ 道路・公園使用の規制緩和
	河川側道整備(街灯等)	△ 企画段階から参加 ファンドの提供	○ 事業主体、支援等 ファンドの運用	△ 道路・公園使用の規制緩和
	河川の浄化	○	○	○ 実施中
	商店街全体として統一した魅力(建築協定)	△	× よいと思わない	△
ぶらくり丁の環境整備	飲食店や緑などを入れたストリート(オープンカフェ等)	△ 企画段階から参加 ファンドの提供	○ 事業主体、支援等 ファンドの運用	△ 道路・公園使用の規制緩和
	私有地、公有地の中間領域を考えた商店街	△	?	△
	空き地、空き店舗を多目的なポケットパークに	△	?	△
	自転車の乗り入れ制限、街角駐輪場	△	?	△ 道路交通法の許可 利害関係者の同意
イベント(継続)	各分野での発表会をぶらくり丁でやる「青空ギャラリー」 (絵画、写真、活け花、書道、パッチワーク、等) キッズフリーマーケット、ドラマワークショップ	△ 企画段階より参加 ファンド提供	○ 事業主体、支援等 ファンド運用	△ 商業活性化支援事業補助金
	路上パフォーマンス(イラスト、音楽)へのぶらくり丁の開放	△ 参加	○ イベント連携、支援	△
イベント(短期)	ぶんだら祭り+よさこい祭り=ぶらくり祭り	?	△ 支援等	?
	大学祭の誘致	?	?	?
	無料映画上映会	○ 映画館の協力	△ 調整等	△



Dグループ

「高齢になっても生き生きと暮らせるまち」暮らし空間創出ワーキンググループ

今回の議題	「自分たち、TMO、行政が すること・できること」	ファシリテータ 氏名	鳥淵 朋子
-------	------------------------------	---------------	-------

(検討結果)

今回は、前回出た意見に対して具体案とそれぞれの役割分担を考えてきてくださいという宿題を出していただきましたので、その発表から始めました。詳細に分類し新たな表を作成された方、表の空白部を埋めて完成された方など積極的な参加が見られました。「タウンモビリティのことが良く知られていないので、まずそこからだ」という話や「事業として捉えるのか」「広報や広告として捉えるのか」、あるいは「長期レンタルで家の前に電動スクーターが置いてあるのも良い」、「製造企業とタイアップで全国に発信できるような取り組みにはどうか」など、様々な意見が出ました。最終的には具体案シートに書き込み、今回の意見を集約し、今後事業案として掘り下げていくことを合意しました。

【タウンモビリティ導入に向けて 具体案シートのとりまとめ】

タウンモビリティの導入に向けて		自分たち	TMO	行政	商店街	NPO	利用者・ 地域住民
電動スクーターの 確保と認知	商店街の一括購入		○				
	慈善団体等からの寄付贈		○				
	メーカーとのタイアップ協力		○				
	住民に対して1～2ヶ月の長期貸し出し		○				
	電動スクーター利用者に特典 ショッピングの特典(割引等)				○		
	ユニバーサルデザインコンソーシアムへの協力要請		○			○	
安全性の確保	利用者に対する運転講習会の開催		○	○			
	一方通行により車幅車両通行の制限と歩行			○			
	電動スクーターの通行路の確保			○			
	自動車の交通制限・駐停車制限			○			
財政と運営	道路関係規制に対して、市民の熱意ある働きかけ(対行政)	○					
	シルバー人材センターの活用		○		○		
	新しいNPOの立ち上げ					○	
	ボランティアグループ(学校・グループ等)の協力	○	○				
	人的支援	○					
	専従スタッフは当面行政からの派遣			○			
	初期設備面			○			
	商店街から分担金の收受				○		
	運営面		○				
受け入れ体制	利用者負担						○
	スクーターのレンタル・販売		○				○
	販売業者とのタイアップ		○			○	
	店内をバリアフリー化や構造の変更				○		
	アーケード内の整備				○		
	商店街のバリアフリー化			○	○		
	商店や住民を対象にした啓発やマナー研修会の開催		○		○		
利用率の向上対策	広報部門や企業等への協力依頼			○			
	広報活動(ロコミによる拡がり)			○			○
	マップづくり(高齢者酒場マップや危険地帯マップ等)		○			○	
	中心市街地の広報			○			
その他	無料レンタル・キャンペーン			○			
	定期的なイベントの実施		○	○			
	事業として利益を得るのではなく、広報・広告として考える		○	○			
	高齢者のドリームタウン和歌山市宣言	○	○	○	○	○	○



次回の予定

次回（8月25日予定）のワークショップでは、今回のワーキングで検討できなかった事項について、引き続き検討することともに、考えられた事業案をもとに「自分たちが望む5年後の中心市街地像」について検討していきます。